

デジタル化推進特別委員会記録

令和4年3月2日

【開催日】 令和4年3月2日

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午前10時～午前11時15分

【出席委員】

委員長	伊場 勇	副委員長	恒松 恵子
委員	白井 健一郎	委員	藤岡 修美
委員	前田 浩司	委員	山田 伸幸

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】

議長	高松 秀樹	副議長	中村 博行
----	-------	-----	-------

【執行部出席者】 なし

【事務局出席者】

事務局長	尾山 邦彦	事務局次長	島津 克則
------	-------	-------	-------

【審査内容】

1 デジタル化について

午前10時 開会

伊場勇委員長 皆さんおはようございます。ただいまより、デジタル化推進特別委員会を開会します。本日は、皆さんにはノートパソコンを持って来ていただいて、ペーパーレス化に取り組んでみようという形で開かせていただきました。まず、デジタル化についてという付議事項になっていますが、タブレット化について県内の状況の資料を皆さんにメールで送っていると思います。家でメールを受信して、ここにはWi-Fi環境がないので、資料がパソコンの中に入っていると思いますが、それを見ながら進めていきたいというふうに思います。資料について事務局から概要説明をお願いいたします。

島津議会事務局次長 これは、今年度の夏に県が実施しましたICT化の調査

結果に基づく資料です。現在、県内では13市中5市、宇部市、山口市萩市、美祢市、防府市が、公費によりタブレットを導入されています。その次の下関市、岩国市、長門市につきましては、議員それぞれが、タブレット端末等を購入し、使用しております。公費で購入しているところですが、いずれもアイパッドプロを導入されておまして、いずれもレンタル、リース等となっております。あとは、その公費の負担割合とか、それから、タブレット等の配布目的、それから本会議等で使われているかどうかというところを記載しております。防府市議会については、令和4年3月定例会から使用するというふうに聞いております。ペーパーレスの会議システムについてですが、いずれも東京インタープレイ株式会社のサイドボックスを利用しております。説明は以上です。

伊場勇委員長 先ほど御説明がありましたけども、13市中5市でタブレットを導入されているということなんですが、まず、メーカー機種、そしてサイズについて、ちょっと話をしていきたいと思います。基本的にアイパッドプロというものを使っておまして、購入は事務局だけですね、リースで対応しているということです。山田委員、クロームブックという話が出ましたけど、アイパッドプロが多いですが、その辺はどう思いますか。

山田伸幸委員 クロームブックというのは、全国の学校がメインで、ちょうどコロナと相まって昨年から一斉に導入が進み、県内でも何市町か忘れましたが、かなりの学校でクロームブックが利用されています。クロームブックの一番の利点としては、本体の機能に依存しない、ネット等のやり取りができれば、もうそれだけで、かなりの速度で利用ができるというメリットがあります。新しいシステムで、セキュリティーも全部クロームブックのほうで管理されていて、別にそれを導入する必要はないという利点があります。

伊場勇委員長 機種選定についてなんですけれども、これについて少し協議し

たいなと思うんですが、御意見ありませんか。

藤岡修美委員 アイパッドが機種で多いんですけども、何か理由を事務局は把握されていますか。

島津議会事務局次長 恐らくですが、まずタブレット端末が多いのは、通信の関係だと思います。２ページ目にLTE回線という調査があると思うんですけど、皆「あり」になっております。ノートパソコンの場合ですと、通信するためには、ほかにスマホのテザリングを使うか、通信用の端末を持っておかないと外に出たときに使えないということがあるので、恐らくタブレットが多いのだろうと思います。あと画面はなるべく大きいのが使いやすいということで大きいのだろうと思います。私もタブレットとかを使ってないので、それぞれの機種がどうなのかというのはよく分からないんですけど、やはりアイパッドの人気があるから、こういう結果になっているのかなとは思っています。

山田伸幸委員 アイパッドが利用されている。特にプロの12.9インチというサイズは、タブレットの中では、ほぼ最大です。これ以上大きいのは、ちょっと私も見たことはありません。以前、長門市議会が、各自持ってくるということだったんですけど、皆10インチで、非常に苦労しているという話を聞いています。議案を見るにも10インチでは限界があるということ言っていました。私が思っているのは14インチなんですけど、これだときりぎりいけるかなという感じで、私はクロームブックを使っています。

伊場勇委員長 見やすいものにするということは、12.9インチが理想的だということですね。あと、LTEなんですけども、LTE回線にすることによって生じてくる問題が通信料なんですよね。議会中だけ使うというわけにはなかなかいかないかなんかと思っていて、通信料の負担をどうするのか。個人負担なのか、議会中に使うなら、公費とかいう話になると

思うし、政務活動費を使うべきなのかどうかというところもあると思います。その辺は、他市の状況は、どこを見たら分かりやすいですか。

島津議会事務局次長 2 ページ目の負担内容のところを見ていただけると分かるかと思います。全額公費が3市、2分の1公費負担で残りは政務活動費若しくは私費から支払っているというところが山口市になっております。

伊場勇委員長 通信料についてですが、全額公費と2分の1というところなのですが、ここもお金が掛かってくる場所なので、理由づけもして仕組みを作っていかななくてはいけないと思うんですけれども、全額若しくは半分というのは、どう思いますか。

山田伸幸委員 Wi-Fi 回線であれば発生しないですよ。出先でやろうと思えば、さっきから話題になっているテザリングでやれば、どこでもできるわけですから、それは自己負担ということになりますけれど、Wi-Fi であれば、残念ながら市庁舎では1階にあるのが使える程度です。これが一本で20人が使ったらいっぱいいっぱい、実際には20人も使えないというふうに言われております。美祢市を見ると、美祢市はWi-Fi の回線を2階と3階で使えるようにしていました。これが私は一番合理的かなというふうに思うんです。自分がどこかで使いたいのであれば、自分の通信の範囲でやっていけばいいというふうに思います。

白井健一郎委員 政務活動費から出すという話なんですけど、山陽小野田市議会の政務活動費というのは、議員一人当たり1か月6,000円ではなかったですか。非常に少ないんです。本1冊、2冊買えるかどうかぐらいしかもらっていませんので、ここで出すのは厳しいかなと思っています。

伊場勇委員長 確かに他市と比べても政務活動費は少ないということで、その

負担を政務活動費で出すのはどうかという御意見です。先ほど山田委員がおっしゃいましたけども、ここにW i - F i 環境があれば、委員会室や議場にあれば、L T E がなくとも、委員会、本会議中には、不都合はないのかなというふうに思います。視察とか、議会報告会とか、議場、委員会以外のところでの議会活動については、タブレットを使うときに、例えば、さっき言われたテザリングを使ったりする必要が出てくるかもしれないけれども、山田委員は自己負担でいいんじゃないかというようなお考えということですよ。

恒松恵子副委員長 事務局にお尋ねしたいんですけど、例えば委員会室にW i - F i 設ける、議場にW i - F i を設けるとかいう見積りを取られたことはあるんですか。

島津議会事務局次長 見積りを取ったことはございます。その金額をということですかね。（「はい」と呼ぶ者あり）参考ですが、委員会室や会議室、控室、議場に全て、皆さんに御不便を掛けないようなW i - F i を設定することを考えて見積りを取りましたところ280万円となっております。

山田伸幸委員 それは庁内にあるL A N がありますよね。それからW i - F i を出すということではないわけですね。

島津議会事務局次長 もちろん違います。

恒松恵子副委員長 月々のコストの概算は出されたんですか。

島津議会事務局次長 この見積りが概算というか、ざっとしたものなので、そこまでは出してないんですけど、回線を1回線引いても、プロバイダー契約込みで、数千円ではないかというふうには思います。

伊場勇委員長 280万円というのは、もうちょっと詳しく説明できますか。

島津議会事務局次長 例えば、議場に回線があったとして、そこから委員会室や会議室に全て配線を設置する工事等も行いまして、それからルーターをそれぞれ大きい部屋でしたら二つぐらい置くのかな。ちょっとその辺の内容は、そこまで見てないんですけど、それぞれに設置する工事も含めてということです。何とかうちとしてももっと安くできないかと思ひまして、どういう方法があるかというのは、これから考えていこうと思ひています。

伊場勇委員長 議場の改修もされましたし、今から庁内の改修も少し入るんですけども、その中で、これは執行部のほうとも話さなくてはいけない内容だと思うんですけど、事務局、その辺どうなんですか。

島津議会事務局次長 当然、執行部とも話していかないといけないので、これから話していくつもりです。ただ、議会が市の回線を使えないのはセキュリティの関係もありまして、議会の場合ですと、皆さんフリーというか、普通の回線で十分だと思うんですよ。市の場合は、ある程度セキュリティがしっかりしてないといけないので、市のをそのまま利用するというのは難しいかなと思ひています。

伊場勇委員長 議員が使う電波は、それ専用のもを用意するというところですよ。なので、それだけの金額が掛かる、今あるものは使えないんじゃないかということですよ。

島津議会事務局次長 はい、そのとおりです。

伊場勇委員長 ということでございますので、それについてはまた少し掛かる経費というのがあるということも明らかになりました。

島津議会事務局次長 全てを聞いたわけじゃないんですが、タブレットを導入しているところは大体W i - F i とかも設置されているのではないかと
いうふうには思います。

伊場勇委員長 タブレットを導入されているところは、ほぼ全部、議場にW i - F i を設置されていると思います。執行部についても、どういうふうに使われているかということも一緒に考えていかななくてはいけないのかなと思っています。議会側だけペーパーレスといったところで、執行部も沿って対応してもらわないといけないのかなと思うんです。最後の問9のところに執行部の状況があるんですが、宇部市と山口市はタブレットを使っていなくて、萩市と美祢市は利用しているということなんですよね。どうせペーパーレスをやるんだったら、議会も執行部もする必要はあるんじゃないかと思うんですが、その辺は皆さんいかがですか。それも提案していかななくてはいけないと思うんですけど。

山田伸幸委員 執行部は執行部でペーパーレス化、デジタル化ということを進めていますので、それが進んでいるのに、議会だけが取り残されるというのはどうしようもないし、いろんな情報を素早く収集しようにも本会議中、委員会中は何もできないということになっていますので、素早い委員会審査のための情報を、あらかじめ取得すればいいんでしょうけど、途中でどうしても調べてみたいというのが出てくるんですけど、そういったことができないということを考えると、委員会室ごとにW i - F i がどうしても必要だと思います。特にこういうコンクリートの建物というのは非常に電波が届きにくいんですよね。以前、ある議員が言っておりましたけれど、総コンクリート住宅では、1階と2階で完全に通信が遮断されてしまうというようなことを言っていて、子機が必要になってくるというふうな状況だと言っておりました。そういった意味でいうと、委員会室ごとにW i - F i の機械を入れざるを得ないのかなというふうに思います。執行部とも連携というのは分かるんですけど、議会が先行してもいいんじゃないかなというふうに思います。

伊場勇委員長 なるほど。そのほか、御意見ありますか。執行部も使わなければいけないんじゃないかなと思うんですけど、執行部は執行部の考えがあると思うんです。

前田浩司委員 執行部からの情報を議会でしっかり吟味する必要があると思います。まず、最優先で議会のほうで軌道に乗れる環境をしっかりと整えて、準備ができた段階で執行部との共有ということが、いずれは発生してくるのかなと思います。先ほど山田委員がおっしゃられたとおり議会先行で検討を進めていくというのが一つの手かなというふうに思います。

伊場勇委員長 執行部のほうでもパソコンを持ってきている人とかもいないですか。

山田伸幸委員 水道局なんかは、予算審査のときに必ずパソコン持ち込んで、それを見ながらやっていますよ。こんな分厚いものを持ち歩くよりは、それで済むのならそれでしたほうが良いと思います。

伊場勇委員長 使っている人は使っているけど、そこは水道局だけですか。

山田伸幸委員 予算の審査のときに分かるんですけど、こんなファイルを何冊も抱えてきているわけですよ。非効率も甚だしい。情報を見るときには一生懸命めくって、前と後ろに人が配置されて、その場でめくって、何とか探してきて、それを開いて、それで答弁しているという姿を見ると不便を掛けているなというふうに思います。実際に、執行部は議案とは別に、それに付随する資料を山ほど持っているんですよ。だから、なおのこと、執行部のほうが、そういうのは切実に思っているんじゃないかなと思うんです。議員としては、今の議案は全てネット上に配信されて、自分たちでそれを見ることは幾らでもできます。PDF化ということをしているので、やろうと思えばすぐにでもできるんです。ただ、

委員会室にパソコンの持込みが許可されていませんので、デジタル化推進特別委員会だけは、今日こうやって見ながらやっていますけれど、その点では、急いで体制を整えていくことが必要ではないかなというふうに思います。

伊場勇委員長 体制を整えていくことが必要ですよ。

山田伸幸委員 率直に言ってしまうと、導入するかどうなのかということを決めていかないと次に進めないんじゃないかなと思います。

伊場勇委員長 今の話ですけども、導入することを前提に話をしているところ、取り組んでいくということなんですけれど。

恒松恵子副委員長 先日、産業建設委員会の補正の審査のときに、事務局からカラー刷りの資料を事前に頂いたんですけど、よその委員会も全部届いているんですか。

伊場勇委員長 総務も厚いのが来ました。民福は事前の資料とかはどうですか。

島津議会事務局次長 今、委員会の資料は、3日前までに執行部から事務局にデータを頂けるようになっておりますので、全ての委員会で資料は事前に皆様にメールで送付しております。

恒松恵子副委員長 ということであれば、執行部の資料がデジタル化されているから、議会のペーパーレス化、デジタル化の取組も早いのかなと思います。

伊場勇委員長 当日じゃないからという話ですね。当日資料があっても、環境があれば、すぐにパソコンに飛ばしてもらえれば、共有できるという話でしょう。

山田伸幸委員 現在は、いちいち決裁を取らんと資料は本来ならもらえないはずなんです。だからその辺で、執行部がそれに応じてくれるかどうかということですよ。現在、事前配布の資料は決裁が取れたものだというふうに思うんで、その辺はどうなんですか。当日配布というのはできるんですか。

島津議会事務局次長 その場ですぐ配布というのは多分難しいだろうというふうに思います。山田委員が言われたような手続を経て、出てくるものだというふうに思っております。

藤岡修美委員 会議中のインターネットの必要性なんですけど、委員会審議の資料は前もってメールで頂いて、パソコンに保存しておけば大丈夫だと思うし、ペーパーレスの会議システムは、東京インタープレイをどこも採用されているんですけど、それに会議中のインターネット、Wi-Fi とかが必要になってくるんですか。

島津議会事務局次長 新システムで必ず必要かどうか断言できませんけども、たしかクラウド型じゃないかというふうに思います。ある一定のところに入れていて、それを皆さんで見られるようにするということから、通信は必要であろうというふうに思います。

山田伸幸委員 大体よそのを見ると、本棚というのがあって、そこにどういう資料が保管してありますというのが一目で分かるようなものがあって、それをクリックしていくと、自分の見たい資料、あるいは自分に関連がある資料にたどり着くということになっていますよ。ですよ。（「はい」と呼ぶ者あり）これは前に宇部市議会と一緒に研修会をやったときも、そういったのを出していました。それで行くんならそれ、あるいは、私が使っているようなクロームブックを使って、独自にやることも可能ですけど、（「統一したほうがいい」と呼ぶ者あり）汎用性を考えると、

ほかの議会が使っているものが便利なのかなというふうには思います。
ただ、セキュリティーの問題がある。

伊場勇委員長 もちろんセキュリティーの問題もクリアしながら、後でサイド
ボックスをダウンロードしていただいて、皆さんで使ってみるというの
も一つの手かなというふうに思います。今、いろいろな角度から話をし
て、まとめるのはまだまだ早いと思うんですけれども、本会議、委員会
での使い方、執行部の状況も踏まえて、ペーパーレスの会議システムに
ついて話をしました。今導入している、検討しているところ以外にも
聞くと、下松市も光市も周南市も検討作業に入っているようで、まだ表
に出ていないですけど、どういうふうにしようかというところは、議員
の中で話をされているようなんですよ。これは間違いなく時代の流れで
すし、デジタル化というのは、いろいろな提案が執行部から挙がってく
ると思うので、そこは議会としてしっかり取り組んでいく必要があるな
というふうには思います。今、話した内容を踏まえて、恒松副委員長に
議事を取ってもらっているんで、これを共有して、今度は正副委員長で、
使い方とか仕様を詳しく提案させてもらうんで、そのことについて、み
んなでたたいていきたいなというふうに思います。タブレットについて、
気になる点があるとか、言っておきたいこととかありますか。

藤岡修美委員 タブレットはレンタル、リース、購入と3種類あるんですけど、
この辺りは、どれが一番経済的か、事務局は把握されていますか。

島津議会事務局次長 議員が御自分で準備されている下関市、岩国市、長門市
については、議員の持ち物ですから、購入されているところもあるでし
ょう。それがこの三つです。公費で購入しているところは、やはり管理
が難しいのと、何年かたったら新しい機種も出るので、3年とか4年と
かでやり替えることを前提に、リースとかレンタルというふうにされて
いらっしゃると思います。

伊場勇委員長 結局、金額ですよね。アイパッドプロの12.9インチとかは1台20万近くしますよね。リースも結構高い金額なんじゃないかなと思っていて、事務局分かりますか。調べられていますか。

島津議会事務局次長 見積りを取ったところ、機種によって金額は違いますが、やはり月々20万程度は掛かるということです。

伊場勇委員長 月々ですか。何台ですか。

島津議会事務局次長 見積りを取った分では、30台のリースで取ったんですけども、約20万円となっています。

伊場勇委員長 30台で月々20万ということは、年間240万掛かるということですね。費用対効果はどうなんだというところだと思いますけど、そこは突き詰めて話をしなければいけないと思います。事務局にも必要だと思うんですよ。ほかの市議会も事務局は持っているんですよね。

島津議会事務局次長 ここに書いてありますが、山口市であれば、事務局の職員用に11台とか、萩市も5台、防府市も1台ですか。美祢市の場合は、たしか執行部が準備しましたので、執行部と議員、それから議会事務局用にあったと思います。当然、ペーパーレスということになりますと、書記も委員会に入りますので、そこもペーパーレスするかという話になって、事務局用にある程度台数を用意されていらっしゃるのではないかと思います。

伊場勇委員長 結構なお金が掛かります。簡単にすぐできるわけではないというところは、いろいろ話さなければいけないと思います。

山田伸幸委員 議員というのは任期4年です。その間に使ってしまうと、もう次のものに替わっているか、あるいは使えなくなってしまうおそれとい

うのが多分にあって、これを一々全部市、あるいは議会で準備するというのは、どうなんかなという思いを持っています。議員として、自分の必要経費として、それぞれが持つというのが一番現実的かなと思います。そうすれば、ずっとその後も使えるわけですから、そういうふうには私は思うんですけど、皆さん、その点についてはどうでしょうか。

伊場勇委員長 山田委員が言うのは、公費で買うか、買わないかという話ですよ。もちろん公費で買ったら、改選があったら、1回返さなくてはいけませんもんね。（発言する者あり）すごく不自由ですか。そのことについてはどうですか。自分で買うということは下関市議会のような形になる。自由なのかな。ただ、本会議で使うものでもありますよね。要は持ってくるのを許可するというのと、ペーパーレスとしての取組をしていく。ただ、物について自分で買うとなると、強制できるんかなと思うところがあるんですよ。議会として取り組むとき、タブレットをすぐ使いこなせる人と、なかなか使いこなすのに時間が掛かる人がいると思うんですが、そういう人は、自分のお金で買おうとするんですかね。

山田伸幸委員 少なくともパソコンは持っておられて、メールのやり取りまではできますよね。ただ、サイドブックスが使いこなせるかどうか。だけど、やってみれば、そんなに難しいものではないなというふうに、私も美祢市のをを見せていただいて思いました。美祢市の高齢の女性でしたけれど、頑張って、議案をそこから引っ張り出して、一生懸命読み込みをして、その中から質疑をしておりました。それはあくまでも返さなくてはいけませんよね。丁寧に扱うかというところどうなんかなというのもありまして、自分で持ったほうがいいのではないかと思います。ここはタブレットということが大前提であるんですけど、私の使っているのは、クロームブックと合わせてウィンドウズパソコンを使っています。要は本会議に持ち込むのはいいけど、がちゃがちゃするのは駄目よという話ですよ。

伊場勇委員長 今、隣でかちやかちやしていますけど、僕はあんまり気にならないです。

山田伸幸委員 産建にいたときに、すごく気になったんですよ。水道局の職員の音がよく聞こえるんですよ。（「聞こえない」と呼ぶ者あり）そうですか。僕ぐらいかな。ただ、20人ぐらいやりだしたらすごい音になるように思うんですよね。だから、事前にしっかりと必要な資料をそろえておくというのが、議員としての心構えかなというふうに思いますけどね。機種選定でタブレットにするかパソコンにするかというところで、支障がなかったら、私はパソコンでもいいなというふうに思っていますよ。

伊場勇委員長 タブレットじゃなくて、パソコンにしたらどうだという御意見がありました。

恒松恵子副委員長 自己負担で購入するとなると、推奨モデルみたいなのが出てきたら、何を選んでいいか分からないとか、持ち前のが使えたら、それを使う人もいるでしょうから、そうなると同じ機種をみんなが持つというのは、また課題の一つになるかなと思います。

伊場勇委員長 機種によって多少違いますからね。

山田伸幸委員 東京インタープレイ社の分については、機種は限らんわけでしょう。

伊場勇委員長 どの機種でも入ります。

白井健一郎委員 パソコンにしる、タブレットにしる、自分で買うのか、公費なのか、あるいはレンタルなのかという話ですが、1年間で100万単位のお金が出るというのが本市にとってどれほどの規模なのか。今回予

算の質疑などに参加していきまして、本市にとって100万単位は本当に大きな額だと思います。前白井市長のときは、とにかく本市は経済的に厳しい厳しいというところをいろんなところをカットしてきましたが、まだその厳しさが残っているというのを実感しているんです。皆さんもそうだと思います。何か提案すると、お金がない、お金がないと言われます。やっぱり1年間100万単位というのは、本市にとっては負担が大きい額ではないかというのが私の印象で、この先皆さんに説得されるかもしれませんが、今のところは、先ほど山田議員が自分のお金で購入するということに乗りたいと思います。あともう一つ、先ほどの通信費ですか、議員の政務活動費は1か月で6,000円しかありませんし、そこから払えというのはちょっと厳しいこともあって、つまり議員のほうも結構歳費はカットしているんですよね。それは、市民の皆さんにも分かっていたきたいと思っています。

伊場勇委員長 タブレットを入れる趣旨目的をしっかりと作っていかなくてはいけないですし、公費を使うなら、それなりの効果もしっかりと明文化しなくてはいけないし、市民の人に分かりやすく伝えるような形も取っていかなくちゃいけないというふうに思います。このことについては、正副で少し案を作らせてもらって、2、3パターン作らせてもらいますので、それについて意見を出し合いながら、方向性を作っていきたいかなと思います。タブレットについては、取りあえず今日はこれぐらいにしようかなと思うんですけども、よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは換気のために休憩します。10時50分まで休憩いたします。

午前10時40分 休憩

午前10時50分 再開

伊場勇委員長 それでは、委員会を再開いたします。続いての議題としては、

議員研修についてです。アドバイザーが本市議会には2名いらっしゃって、中村アドバイザーという方が、いろんなところで議会でDXの推進について講演や調査研究をされております。本市議会もこれからというところなので、こういった状況があるのか、こういった取組を他市はしているのかという先駆的なところも御紹介していただきながら、説明していただくと、本市議会全体で、そのことも勉強できたらいいかなというふうに思っています。これは、この特別委員会から議会運営委員会に提案して、そこで御判断いただくというような形になると思うんですけど、このことについて必要性があるかどうか、皆さんの御意見を頂きたいんですけど、いかがでしょうか。

山田伸幸委員 今、なかなか研修ができないという中で、Zoomを使った双方向の研修ができるのであれば、私たちはデジタル特別委員会ですけど、先進的な研修を受けられるということであれば、早めにやったほうが、私たちの委員会のスムーズな進行にもつながるんじゃないかなというふうに思います。

藤岡修美委員 Zoomで研修会という提案がありました。市の器具を使って、東京からの講習を議員全員で受けるのは可能なんですか。

島津議会事務局次長 今おっしゃるのは、皆さんがどこかにそろってやるということですか。Zoom自体は可能ですけども。（発言する者あり）例えばZoomですと、一番簡単なのは、皆さんスマホをお持ちですので、それで自由に参加は可能かと思えます。（発言する者あり）おっしゃるとおり、パソコンによってはカメラが付いていないとかいうこともあるので、全てが対応可能だとは思いませんけども、一番簡単なのはタブレット、スマホで参加することは可能です。もちろん、以前、江藤教授とやったような研修で、どこかに集まって、講師の方を映して、その場でやってもらうというようなことも可能です。

山田伸幸委員 Zoomでやるんなら、別にどこかに集まる必要はないし、操作に不案内な人だけ来ていただいて、自分でできる環境をお持ちなら、それぞれの自宅でやるという形でもいいんじゃないかなと思います。そのほうが、感染の問題があってもできますし、それぞれ自分の意見があると言えば、意見も言えますし、質疑もできるわけですから、Zoomでの研修というのは、今はこれしかないかなというふうに思えるような状況です。

伊場勇委員長 この研修の仕方について、御意見を頂いていますが、例えば、本庁舎の3階に集まってするのか、それともZoomを使って自宅であるのかという話になるんです。例えば3階に集まってもできるんですよね、執行部が会議室で研修していますよね。

島津議会事務局次長 空いていれば予約して、やることも可能です。

伊場勇委員長 前は、厚狭の複合施設でされたと思うんです。何で厚狭の複合施設だったんですか。

島津議会事務局次長 庁舎改修工事の関係で、こちらは結構音がするのと、山陽総合事務所の研修室が一番広がったためと記憶しております。

白井健一郎委員 Zoomは、私も何回かやったことありますが、万能じゃないんですよ。どういう意味かというと、音声がちよつと遅れて入ってきたりとか、ちよつと割れたりとか、あるいはマイクを消し忘れたら、雑音が入ってきたりとか、全員がマイクを消しておかないといけないわけですね、しゃべっている人以外は。10人以上参加したら、それも徹底できるかどうか分からないとか、そういったちよつとした技術的な問題で、Zoomでもプロがやっているような、何十回もやって、お金を取ってやっているようなのだったらしっかりできますが、そうじゃなくて身内だけでちよつとやるような感じでは、うまくいかないこともあるん

ですよね。私もやると決まったら出ますけれども、Z o o mでは万々歳で賛成しようかなというところまではいきません。

伊場勇委員長 細かい仕組みの理解と、要は使いこなせるかどうかということだと思っんですけども、そんなに難しくないんじゃないのかなと思ってはいるんです。相手方はZ o o mでやっていただく。受けるこっち側の話ですよね。それを、この前みたいに議員が集まっていたいて、一つの大きなプロジェクターで対議員としてやるのかということだと思っんですよ。そのほうが、それぞれの設定とかをしなくてもいいのかなとか思ったりもしているんですけど、まずは、議員全員の状況を踏まえて考えてみるということなんです。

山田伸幸委員 できる議員は、自宅でやってもいいんじゃないんですか。

伊場勇委員長 確かにそれも一つの方法です。山田委員も私も結構、リモートが多いので、それで参加というのもありにしたらどうかと思っんですけど、集まってやるという希望の人は集まってやるスペースも確保して、やっていく。ハイブリッドになるんで、準備等がそんなに大変かな。大変じゃないと思っんですけど。その辺の仕組みについては、今は意見を出し合ってもらっているんで、ちょっとまとめたもので、もう一度、再度提示させてもらいたいなと思っます。基本的にはこの研修をするかというところなんですけども、それをするという方向でいいですか。市民サービスのほうじゃなくて、議会のデジタル化についての取組や先進地事例等の勉強会ということですよ。

山田伸幸委員 中村さんの研修は、私も何回か受けてきたんですけど、デジタル化についても造詣が深いんですか。

伊場勇委員長 はい。私が調べているだけですけれども、いろんなところで講演等されておりますので、いろんな事例も研究されているということですよ。

す。もう1回、本人にコンタクトを取ってみます。

白井健一郎委員 本市の総合計画の中期基本計画でデジタル化の話が出たと思うんですが、デジタル化が進むにつれて、何かしらフォローアップといいますが、紙媒体を必ず残しておくとかいうことを言って、執行部にも賛同を得たんですけれども、そのことから考えましても、議員の中でどうしてもできない人もいます。私の知っている中でも、パソコンで文字を打ったことがないという人もいます。そういう人は、パスワードを打つだけでも、非常に苦勞すると思います、できるかどうか分かりません。そうなったときに、フォローアップ、紙媒体で何か準備するとか、市役所に来てもらえれば、スクリーンでZ o o m画面が見られるというふうなフォローを必ずしていただきたいと思っています。確かに、デジタル化を推進する委員会だから、余り消極的なことを話すつもりはありませんけど、ちょっとお隣の委員の方が前のみり気味なので、私はちょっとそこで、それはどうかなと一言申したいと思います。

山田伸幸委員 前のめりと言われたけど、できるところからやっていかんと、皆ができるようになってからと言っていたら何にもできません。Z o o mのいいところは、できない人は会場に集まって、そこで視聴すればいいわけで、自宅で見れば感染の可能性も低くなるわけですから、それはそれでやっていけばいいことなんじゃないでしょうか。

伊場勇委員長 議会全体としてどう進めていくかの話なんですけども、もちろん、技術、知識の個人差あると思いますんで、その辺は無視するわけじゃないですから、そこも考えながら取り組む必要がある。今は研修についてなので、今の意見も踏まえながら、正副委員長で一つ案を出しますので、それについてまた御意見を頂きたいなというふうに思います。なるべく早めにやりたいなと思っていますので、その辺はまた御協力のほどよろしく願いいたします。それでは次、先ほどZ o o mの話が出ましたが、委員会は、Z o o mで開催というのは難しいかなと思います。

原則公開からすると、なかなかZ o o mで委員会というのは、ちょっとできないかなと思うんですけども、協議会をZ o o mを使ってやっていきたいなというふうに思っています。日時はまた話そうと思うんですけども、Z o o mでの協議会に取り組もうと思います。それについては、いいですか。

山田伸幸委員 よく分からないんですけど、要するに、Z o o mでやりながら配信は無理だというふうなことの判断なんですか。

伊場勇委員長 まずZ o o mを使って協議会をしたことがないじゃないですか。まず、それをやってみようよというだけの話です。そこでいろいろ不都合とか、やってみないと分かんないこともあると思うんで、それにまず取り組んでみましょうという話です。次に行きます。続いて、新年度事業について、デジタル部分が結構あったと思うんですよ。基本、総務と民福が多かったですか。産建はなかったですか。（発言する者あり）都市計画図ぐらいですか。審査は各常任委員会、各分科会でしっかりやっていただくということなんですけども、審査結果等を踏まえて、デジタル特別委員会なので、本市の方向性とか、こうしたほうがいいんじゃないとか、これは横軸が刺さっていく施策も結構ありますから、担当課だけでは解決できない問題もあると思います。そこで、このデジタル特別委員会が、いろいろな状況等を踏まえて考えて、提案まで行けたらベストなんですけども、そういうところも考えていく必要があるんで、デジタル化については、委員が審議した結果を持ち寄っていただくということをここで確認して、次回3月定例会終了後に集まりたいなというふうに思うんですけども、いかがでしょうか。

山田伸幸委員 全体的なデジタル化というのは国を挙げてやっていますし、何千億も掛けて、いろいろなシステムの構築もスタートしているんですけど、それに対するマイナス部分、問題点も顕在化しています。一つには、個人情報保護がなおざりになっていく。個人を特定されないような情報

の形にして、それが民間に利用されているというのが明らかになっているんですけど、結局ほかの情報と合わせていくと個人が特定できるということも分かってきて、市役所が業者に言われて、こういうシステムを採用しますと言ったときに、議員もそれをきちんと把握をして、問題点は何なのか、その点についてしっかりと検証できるように準備を整えておかななくてはいけないのではないかなというふうに思います。

伊場勇委員長 個人情報については、デジタル化についてくっついてくる問題で、民福関係でも、総務関係でもくっついてくると思います。そういうことについて出し合っていて、そのときに話しましょうという話です。例えば、キャッシュレスの決済システムが市の1階にできます。1台ですけど、2台買ったほうがいいんじゃないとか、それぞれ考え方があると思うんですよ。それをより重点的に、総合的に考えていく。その話ができるのが、このデジタル化推進特別委員会だと思うんですよ。

山田伸幸委員 デジタル化とは別にIC化というのが、産建の公共交通のところに出てきています。これは利便性が向上するはずなのに、話を聞いていくと全然それが進んでいないというのも最近分かってきました。本当に市民の利便性向上につながるのか、あるいはそうではなくて、先ほど言ったようなマイナス点があるのかというのをしっかり見極める必要があると思います。特に政府が主導で進めているマイナンバーカードの利用が多彩化して行って、個人情報がいろんなところに漏れていくおそれが強まっていくという問題が顕在化しておりますので、その辺も含めてよく検討の余地があるんじゃないかなというふうに私は考えております。是非先ほど言われたようなデジタル化部分について、既に委員会で審査が終わった部分を含めて、しっかりと見直していくことが必要だというふうに思います。

伊場勇委員長 審査事業が関わっている委員の人は、そのことを持ち寄っていただくということなので、そのつもりでいただけたらなというふう

に思います。そのほかにありますか。

山田伸幸委員 視察に行こうとして、ボツになりましたけど、先方とこちらをネットで結んで、それこそZ o o mで研修を受けるというふうにはならなかったんですか。

島津議会事務局次長 その点については、こちらもお願いしてみたんですが、難しいということでした。例えば、3月定例会後でしたら、また是非来てくださいというようなことを言われております。

山田伸幸委員 山口市の話ですよ。

島津議会事務局次長 もちろんそうです。DX拠点についても同じです。今回は駄目でしたけど、是非にということではありました。

伊場勇委員長 前回、視察ができなくて、使っているところに見に行って、聞いてみて、どう使っているのかという状況を見ることも必要かなと思いますんで、それはまた、事務局と調整させていただいて、コロナの状況が分かりませんが、早めに行きたいなと思います。その辺は、また御報告します。そのほかに何かありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、以上をもちまして、デジタル化推進特別委員会を閉会いたします。

午前11時15分 散会

令和4年（2022年）3月2日

デジタル化推進特別委員長 伊 場 勇